

「10年後の小牧市における高齢者の生活イメージ」委員意見まとめ

分野	生活イメージ	今後
医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気になっても自宅で医療を受けられる。</li> <li>・病気や怪我の際、自分もしくは誰かのサポートで医療機関へ行き、十分な医療を受けることができる。</li> <li>・介護が必要になった際も、家族もしくは誰かのサポートやサービスを受けながら自宅で生活を続けることができる。</li> <li>・介護等の理由で自宅での生活が難しくなった際には、地域の中でサービスが整っている施設を利用することができる。</li> <li>・自宅で最期を迎えることができる。</li> <li>・健康な生活を少しでも長く続けられる。</li> </ul>	第2・3回で課題・ギャップ等を検討
住まい・住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族とともに自宅に住み続けられる。</li> <li>・自宅で生活することが困難になった際には、住み慣れた地域の中でサービスや施設環境が整っている所に住み替えができる。</li> </ul>	第3・4回で課題・ギャップ等を検討
食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の調達と用意を自分で行うことができる。</li> <li>・自分で食事の調達と用意ができない場合は、誰かが栄養バランスのとれた食事を用意してくれる。</li> <li>・好きなものを美味しく食べることができる。</li> </ul>	
移動・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が行きたいところへ、好きなときに、安全に自分で行くことができる。</li> <li>・自分で移動ができない場合には、自分以外の誰かが目的地へ連れて行ってくれる。</li> </ul>	第5回で課題・ギャップ等を検討
生きがい・就労/ライフデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたい人が無理なく働いている。</li> <li>・自分の趣味の活動を楽しんでいる。</li> <li>・自分の知識や経験を活かして家庭や地域で役割を担い、誰かの役に立てる。</li> <li>・家族・近隣とのコミュニケーションが十分に取れている。</li> </ul>	
支え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にいる身近な人に、買い物やごみ出し等の日常の作業をサポートして貰える。</li> <li>・自分が誰かを支えられる時は、見守りや食事・移動等のサポートをすることができる。</li> </ul>	
経済面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を維持することのできる蓄え・収入がある。</li> </ul>	

